

SAKAMOTO DAYS

『投資』のススメ vol.2

皆様、お疲れ様です。相変わらず色々な物の値上がりは止まらないし、岸田首相は介護職員等の賃金 6,000 円 up なんて言っていました。「この色んな物が値上がりしている状況で、6,000 円で何ができるんじゃ！」という声が聞こえてきそうな最近です（それでも 6,000 円でもあげてもらえたら嬉しいですし、もっとあがったらハッピーです）

ところで、前回『ふるさと納税』をおススメしましたが皆様は行いましたか？

すでに行った方、投資への第一歩を踏み出したことを心よりお祝い申し上げます。第一歩を踏み出したあなたは日本国民住民税納付者約 6,000 万人のうちの上位約 15%に入ったエリートなのです！素晴らしい！！

まだしていない方、「どうせふるさと納税は 10 月から改悪されたしオワコン w」とか「ふるさと納税だけしたって大した効果にならないから」等としない理由を並べて一時的に溜飲は下がるかもしれませんが、でもあなたが幸福に近づいているかはわかりません。少なくとも金銭的には幸福に近づいていないのではないのでしょうか。こんなことを言うと「お金があるだけで幸せなんかにはなれない！」なんて声が聞こえてきそうです。で・す・が、**お金があれば不幸を回避しやすい、これは事実です**。例えば、治療に高額な費用がかかる難病になっても、お金があれば高額な医療を受ける選択ができます。子供が有名私立大学に行きたいと言われた時にお金があれば快く送り出してあげられます。『**お金があるということは人生における選択肢を増やすことができる**』と捉えればよいと私は思っています。人生においてお金は全てではありません。でもお金が結構大事になることがあるから、ないよりはあった方がよいと思っています。

さて、本題に入る前に煽り散らかしましたが、こういった考えをするのも一つの価値観です。あなたの価値観とは違うかもしれません。最近『多様性が大事』などと言われる世の中なので、自分と違う考え方の人もいる、ちょっと違う考え方の人のいうこともたまには聞いてみようと思って読んでいただければありがたいです。

では、本題へ入ります。今回は『**新 NISA**』についてできるだけわかりやすく説明をしていきます。前回、『**確定申告**』かどちらかしますと言った手前もありますし、時期的に新 NISA 開始直前で話題として旬だと思いましたので取りあげていきます。

『**NISA**』制度のメリットは何か、それは**投資で得た利益に対して通常約 20%の税金がかかるところが非課税**になることです。例として投資で 100 万円利益が出たら通常は 20 万円の税金を納めなければなりません。しかし **NISA** で購入して得た利益については**税金が 0 円**になるという素晴らしい制度なのです！「20%なんてそんなに多くないじゃないか」と言われそうですが、我々雇われ努め人の場合、毎月支給さ

れる給与から税金、社会保険料が天引きされ、あまり税というものに対して深く考えることがないのでピンとこないかもしれません。一度、あなたが毎月もらっている給与明細を1分間じっくり見て下さい。そこには『所得税』『住民税』と書かれていて少なくない金額が記載されていませんか？あるいはもう少ししたら12月末に支給される給与明細に『令和5年分源泉徴収票』が入っているので、こちらも1分間じっくり見て下さい。そこには一年間で支払った所得税が『源泉徴収税額』という欄に書かれています。この金額を我々は納税しています。国民の義務として納税しなければいけません。義務だから仕方ないとはいえ結構な額でしょう？もしこの税金を取られることなく手元に残ればいいのにとお思いませんか？働いて得たお金で納税するのは仕方のないことですが、**NISAは非課税なのです**。投資で出た利益には本来**20%**の税金がかかるはずなのですが**非課税！**なんて素敵な制度なのでしょう。利用しない方が損だと思いませんか。

これまでのNISA制度は『一般NISA』と『つみたてNISA』のどちらかを選んで投資をしていくもので併用はできませんでした。『一般NISA』は年間最大120万円まで購入可能で5年間（ロールオーバー可）、『つみたてNISA』は年間最大40万円まで購入可能で20年間（ロールオーバー不可）の内容でした。『一般NISA』で600万円、『つみたてNISA』で800万円が購入限度額でした。

それに対して『新NISA』は『つみたて投資枠』と『成長投資枠』に名称が変わり併用できるようになりました。また、購入限度額は**1,800万円まで増額**されています。

以下はこれまでの『一般NISA』、『つみたてNISA』と『新NISA』を比べたわかりやすい図になります。

	現行のNISA制度		2024年以降のNISA制度	
	つみたてNISA 併用不可	一般NISA	つみたて投資枠 併用可	成長投資枠
年間投資枠	40万円	120万円	120万円	240万円
非課税保有期間※1	最大20年間	最大5年間	無期限	無期限
非課税保有限度額※2	800万円	600万円	1800万円 1200万円(内数)	
口座開設期間	~2042年末	~2023年末	恒久化	恒久化
投資対象商品	投資信託	上場株式、投資信託等	つみたてNISAと同様	上場株式、投資信託等※3
対象年齢	18歳以上	18歳以上	18歳以上	18歳以上
現行制度との関係	2023年末まで現行の一般NISA及びつみたてNISA制度において投資した商品は、新しい制度の外枠で現行制度における非課税措置を適用 ※現行制度から新しい制度へのロールオーバーは不可			

1,800 万円まで投資できるということはじっくり腰を据えて投資をしていけば少し前に言われていた『老後 2,000 万円問題』に対応できるということです！

また、子供の学資保険代わりに積み立てていけば、わざわざ学資保険に加入して高い手数料を取られることもなくなります。

『**保険は保険だ！積み立てている間に大病を患ったり事故にあったりして働けなくなったらどうする！**』言いたいことは十分に理解できます。ここでの考え方として大事なのは**リスクに対してどのように考えるか、どこまで許容するかを考えておくことです**。残念ながら人間は完璧ではありません、その完璧でない人間の作った NISA 制度もそうですし保険も完璧なものではありません。どこまでリスクを取れるか、許容するかをよく考えた上で保険でも投資でもされることをおススメします。『この世にあるのは正解ではなく、よりマシなものがあるだけだ』くらいに捉えておくとういことだと思います。

さてさて、ここまで読み進めて始めてみようと思われた方もいるかと思いますが。始めるにあたって『**証券口座**』を作らなければいけません。これは銀行で口座を作るようなものでそこまで難しくはありません。ただ、**どこで証券口座を作るか、これが大事です**。

結論からいえばネット証券の SBI 証券、もしくは楽天証券で作ることをおススメします。

どちらがいいかは現在、楽天市場など楽天グループの利用がある方は楽天証券、そうでない方は SBI 証券、これくらいの選び方でよいと思います。

くれぐれも実店舗のある郵便局とか〇〇銀行で作ることはおススメしません。これは実店舗を維持するのに費用がかかるため、お客である我々にお得な商品を提供できないからです。例えば中国銀行清水支店、山陽支店、和気支店、うちのグループの近くにある店舗ですが、どこも立派な建物であり、中に入ると窓口の係の方が数名おり、その奥には我々では何をしているかわからないが、忙しそうにしている職員の方が多数いますよね。そういった店舗が県内にたくさんあります。郵便局も大きい小さいはあれ全国津々浦々に店舗があります。これらにかかる費用を稼ぎ出さなくてはならないので、お客にとってお得な商品の取り扱いをできないのです。一方で上にあげたネット証券はこういった建物にかかる費用だったり人件費だったりをごまかしていいので、お客によりお得な商品を提供しているという訳です。

『私は初心者だからプロの方に聞いて手取り足取り教えてもらって始めたいから実店舗の方が良い』という方もおられるかもしれませんが。ただ、あの方々は販売のプロであって、投資のプロではありません。また会社に所属して利益をあげるという至上命題からノルマを課されているので、我々お客にとってお得なものではなく、販売する側にとってお得なものを売ってくるというのもよくある話です（ここらを勉強したいなら YouTube の『F ラン大学就職チャンネル』の『本音くん ～建前を使えない証券マン～』シリーズを見るとわかりやすくブラックジョークを交えながら勉強できます）

先日、これを書いているタイミングで 10 月の給与明細に中国銀行からのアンケートが入っていました。これはなぜか？といえは中国銀行も新 NISA が始まるタイミングでお客を GET したいからです。**ですので、次回、私が中国銀行で証券口座を作りましょう！などと言っていたら中国銀行から何かをもらったか、上からの圧力に屈したとご想像下さい（笑）**

では次にどのように投資するかですが、最初は投資信託のつみたて投資が良いです。投資信託というのは、色々な会社の株等の詰め合わせパックだと思っていただければわかりやすいです。これを毎月決まった額投資してつみたてていくようになります。毎月決まった額を投資するので無理なく計画的に始めることができます。毎月のつみたて額は 100 円から始められて 30 万円までできます。投資額を決めるポイントと

しては無理なく続けられる金額から始めましょう。毎月 100 円だと少ないですが、つみたてていくことで何%利益が出るか、どのような値動きがあるかを肌感で勉強できるのでやらないよりは数倍よいと思います。

また、投資信託を選ぶポイントとしては大きく以下の3点が挙げられます。

① どのような資産に投資する商品か

一口に投資信託と言っても、投資対象が「株式」か「債券」か「不動産」か「その他資産」か、投資エリアは「国内」か「海外」かなど、いくつもの種類に分類されています。投資対象やエリアなどの組み合わせによりその投資信託の特徴が変わってきます。価格変動の大小、投資エリアが海外だと為替相場の影響を受けるといった特徴があります。つまり、期待リターンが大きいほど、リスクも大きくなり、期待リターンが小さいほど、リスクも小さくなります。自分はどんな投資先を選びたいのか、どのくらいのリスクを許容できるのか考えてみましょう。

② 手数料、信託報酬は必ずチェック！

その投資信託でいくらお金がふえるのか正確に予測することはプロでも難しいですが、いくらコストがかかるのかは事前に確認することができます。同じ運用結果なら、購入時手数料（購入にかかる費用）や信託報酬（運用にかかる費用）を安く抑えるほど手元に残るお金が多くなります。投資信託を選ぶうえでコストの確認は必須です。ちなみにネット証券だとコストの安いものが購入できますが、実店舗のある金融機関だとコストの安いものが購入できないことが多いです。

③ 純資産総額のある程度大きいものを選ぶ

純資産総額（資産残高）は「基準価額（投資信託1口または1万口あたりの値段）×総口数（購入された数）」のことで、投資信託の規模を表します。運用がうまくいっていたり、人気があったりすると純資産総額が増えます。規模が大きな投資信託は、多くの投資家から支持を集めていると言えるでしょう。同じ特性を持つ投資信託であれば、純資産総額が多い方を選ぶ、といった選択肢もあります。

投資信託について調べると人気ランキングやその時々トレンドというものがあります。ただ、トレンドというのはその時点で値上がりした結果、トレンドに入っているということが往々にしてあるので参考程度にとどめておいた方がよいでしょう（参考として勉強したいなら『レバナス 死亡』と検索してみてください）

色々書きましたが、選べないと言われる方向けにお勧めの投資信託をあげておきます。

① eMAXIS Slim 米国株式（S&P500）信託報酬 0.0937%

② eMAXIS Slim 全世界株式（オール・カントリー）信託報酬 0.0577%

③ SBI・V・S&P500 インデックス・ファンド信託報酬 0.0938%

このうち①と③はほぼ同じ内容の商品となります。①③はアメリカの株式上場している上位 500 社に分散投資する投資信託です。なんとといっても GDP 世界一、世界一の経済大国アメリカ様万歳！の投資信託です。皆様の良く知っている Google や Apple、Microsoft など世界でも主要な会社に投資して、アメリカの成長の分け前をもらっちゃおうというものです。ちなみにこの上位 500 社というのは状況に応じて随時入れ替えを行っているのでアメリカ様が沈まない限り大丈夫！という内容になっています。

②はアメリカだけでなく全世界に分散投資できる投資信託となります。現在の割合としてはアメリカが半分以上を占めており、アメリカの経済力の強さを感じるとともに、現在の資本主義経済はアメリカ抜きでは語れないことがよく伝わってきます。ただ、今後成長が期待されるインドなどを含めて投資ができるの

で、よりリスク分散が図れる商品となっています。

あと③の商品はSBI証券では買えますが、楽天証券では購入できませんのでご注意ください。

ちなみに〇〇銀行で取り扱っているものの中で、一番安い信託報酬は0.44%と上記の商品と比べ一桁違います。誤差と思われるかもしれませんが、投資した金額が仮に100万円まで増えた時に信託報酬として930円取られるか4,400円取られるかとある程度以上の金額になった時に大きな差が出てきます。

あと成長投資枠で個別の株式会社の株式を購入して投資もできますが、最初からはあまりお勧めしません。というのも個別の会社ごとに、この会社は今後も儲かっていくのかを調べるため、財務状況の確認や取り組んでいる業態、ライバル企業の現状など、様々なことを調べた上でないと投資で利益を出すのが難しいからです。最初は投資信託から始めて少しずつ株式や経済のことがわかるようになってから始めても遅くないと思います。

老後資金のためであればiDeCoという方法もありますが、NISAに比べて資金拘束が厳しく、原則60歳まで途中解約ができないというデメリットがあります。ライフステージの中で予期せぬ大きな出費に対しての備えとはならないため、まずはNISAから始めるのが良いのではないのでしょうか。

今回はここまでで終わりとなります。投資は始めるハードルが高いですが、無理なく始めてみると意外に実りがあることに気づき続けられるようになります。最初にも書きましたが『**お金があるということは人生における選択肢を増やすことができる**』につながります。

次回は『**投資するにもお金がないからできないよ!**』という方向けに『**節約**』についてやろうかと思っています。細々とするというのは私も苦手なので一度やったらそこからオトクみたいなもの紹介できればと思います。半年あるので気が変わるかもしれませんがそれはご容赦下さい。

ここまで長々とお付き合いいただきありがとうございました。

※投資はあくまでも自己責任です。これを読んで行動した結果、損失が発生しても責任は負えません。また、株式などの個別銘柄等については聞かれてもお答えしかねるのでご了承下さい。

※2023年11月時点での法令等に基づいてまとめています。

皆様の人生により多い幸福が訪れますように。